

しずく

No.
138
2026.7

●編集●
広報広聴常任委員会
●発行●
岩手県雫石町議会

議会だより

●今号の主な内容

特集 わが町の

消防団 2

6月定例会 6

町政を問う

一般質問 9議員が質問 9

委員会レポート 16

ふるさとへの便り 14 19

●今号の表紙／なかよしシリーズ

『わたしたち4きょうだい』 20

特集

まちを守る消防団の明日を考える

特集

まちを守る消防団の 明日を考える

地域住民の安心安全を守る消防団の役割は、「消火・救助活動」「消火訓練」「火災予防活動」など多岐にわたります。近年、消防団員の高齢化や減少により、なり手不足が大きな課題となっています。そこで消防団の現状と課題解決に向けて消防団員や町民からの声をまとめました。



大きな役割を果たす 消防団員が減少



消防団員の現状

消防団員の報酬等（年額）

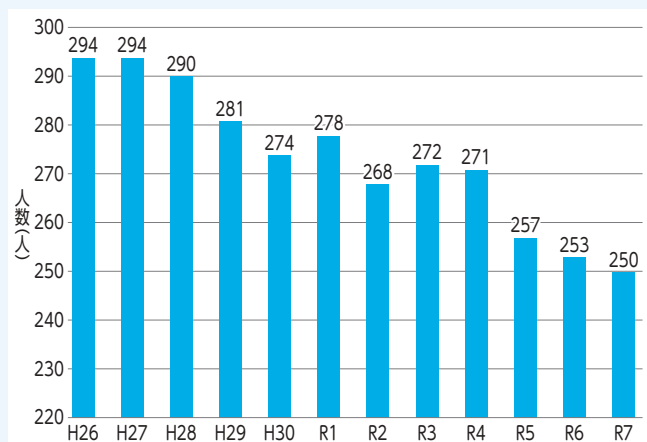
階級	報酬額	階級	報酬額
団 長	175,000円	部 長	71,000円
副 団 長	119,000円	班 長	43,000円
分 団 長	111,000円	団 員	37,000円
副分団長	77,000円		

出動報酬

区分	支給単位	金額	摘要
災害の場合	1回につき	4,200円	水火災その他の災害に出動し、現場において服務した場合。支給単位の基準は別に定める。
訓練の場合	1時間につき	1,000円	訓練のため出動した場合
警戒の場合			警戒のため出動した場合
その他出動の場合			その他招集に応じて出動した場合

- (1) 「1回」とは、4時間未満の出動をいう。
 (2) 4時間以上、6時間未満の出動の場合は、2,100円を加算する。
 (3) 6時間以上の出動の場合は、2時間を単位として2,100円を加算する。

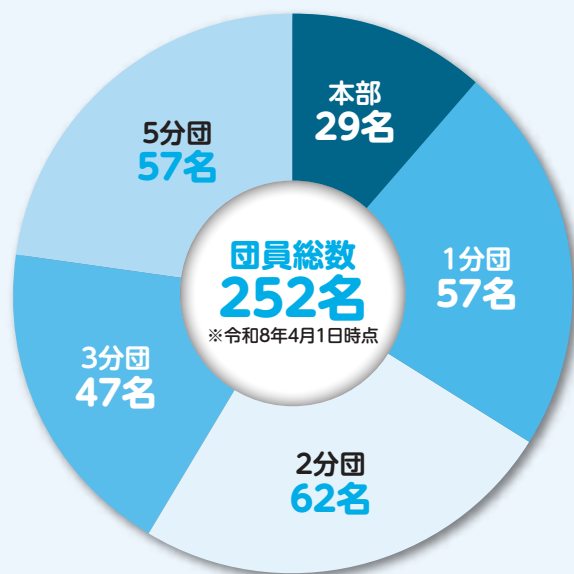
消防団員数の推移



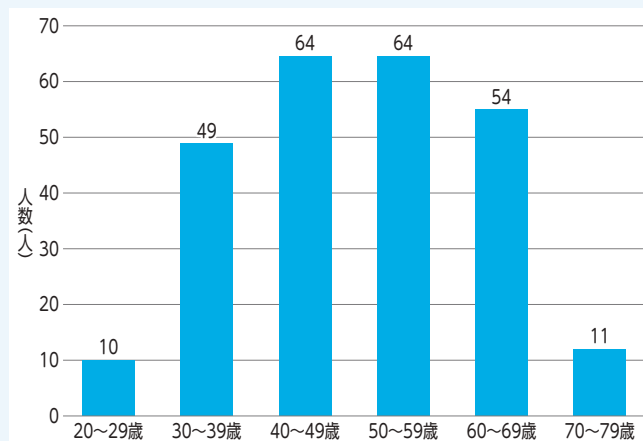
消防団員への運転免許取得費補助金

AT限定解除	補助額	50,000円
普通免許→準中型	補助額	100,000円
準中型5t限定解除	補助額	50,000円

各部の団員数



消防団員の年齢構成（令和8年4月1日現在）



退職報奨金（団員階級で退職の場合）

在職年数	報酬額	在職年数	報酬額
5年以上在職	200,000円	25年以上在職	519,000円
10年以上在職	264,000円	30年以上在職	689,000円
15年以上在職	334,000円	35年以上在職	789,000円
20年以上在職	409,000円		

※支給額は最終階級によって異なります。





なぜ今、消防団なのか

こやちのぼる
小谷地 昇さん

(69歳) 行政区 中沼

- 自分たちの町は自分たちで守る郷土愛の精神のもと、火災、地震、風水害など大規模災害に対応する消防団の重要性が増しています。
- 地域防災力の要として活動する消防団員を確保することが防災力を高め、町民の安心安全につながっていきます。消防団では、あなたの力を必要としています。

インタビューコーナー

消防団員の声

①消防団員のやりがいとは何か

②消防団員の確保に向けて若者へ一言

▶「消防団員のなり手不足」「若い消防団員の確保」など課題解決のため、現役の団員から声を聞きました。



たかはし まさあき

高橋 正明さん(64歳)

行政区 板橋 分団 第1分団分団長

①「自分の家族や地域は自分が守る」という貢献感と世代を超えた団員との絆にあります。

②家族を自分で守りたいと思っている方、地域貢献に興味のある方は消防団への入団を検討してみませんか。



よねざわ かずまさ

米澤 和政さん(67歳)

行政区 赤滝 分団 第2分団分団長

①町民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害時における救助活動等を適切に行うことで、町民に安心安全を与えることができます。

②大船渡市、大槌町のように大規模山林火災が発生すると多くの団員の力が必要となります。若者の皆さん、消防団に入団して町と一緒に守りましょう。



ますざわ しげたか

舩沢 繁尚さん(66歳)

行政区 枥沢 分団 第2分団第2部部長

①町民の生命、身体、財産を守るという使命感のもと、火災や災害時に地域の方々に直接貢献できます。

②自分の生まれ育った町、大切な近所を含めた取り巻く人達を自分の手で守ることが無理なくできます。始めてみませんか。



いしやま まさてる

石山 正輝さん(55歳)

行政区 南 分団 第3分団第4部部長

①団員相互に協力し合い災害等の消防団活動に従事することで団結力が生まれ、それにより町民の役に立てることで。

②以前に比較して待遇や処遇も改善されています。若者の力が必要です。消防団へ入団をお願いします。



かやはし としお

茅橋 寿男さん(50歳)

行政区 八区 分団 第5分団第1部部長

①町民のためになる活動を通じて団員同士のつながりが増えることと、団員や町民、そして分署員と和を広げられることです。

②若い人たちからみたら消防団の印象はどんな感じですか。近年、消防団活動も変化してきています。まずは入団して2、3年一緒にやってみませんか。



ささき ゆたか

佐々木 大さん(44歳)

行政区 中町一 分団 第1分団第1部班長

①有事の際に誰かの役に立てることで。また、訓練を重ね、仲間たちと一致団結して消火した時の達成感は格別なものがあります。

②消防団に入って良かったと思っていることは、分団の仲間、操法チームの仲間、先輩後輩との出会いがあり、皆で誰かの役に立ち、皆のおかげで活動できていることです。興味があったら消防イベントへ足を運んでください。

町民の声 若い消防団員を確保するための方策

▶「若い消防団員の確保」のため、町民はどのような考えを持っているか聞きました。



よねざわ かずはる
米沢 一波留さん(63歳)

行政区 下春木場

- 元消防団員の立場から、団員が減少している現状は地域を見回しても若者がおらず身をもって感じています。
- 報酬や手当を増やしたり、消防団の魅力をあらゆる媒体を使い若者に発信することが必要だと思います。働いている方が入団しやすいよう企業と連携を図ることや企業との間で新しい制度創設も考えてはどうか。



たなべ さとし
田邊 諭さん(58歳)

行政区 上春木場

- 報酬、手当等を増額して内容を分かりやすくする。
- 企業等に、社員等が消防団員として活動することにより地域防災への貢献企業としてPRできるほか、企業イメージの向上に繋がることを伝え協力していただくことも必要だと思います。



いとう まさひこ
伊藤 勝彦さん(64歳)

行政区 九十九沢

- 消防団の魅力を若者に届くようSNSでの発信を強化してはどうか。
- 消防団員は危険と隣り合わせなので、報酬や手当を高くしたり処遇の改善も必要だと思います。
- 社員や従業員が消防団員として活動しやすいよう勤務時間の配慮など地元企業と連携してはどうか。



きくち よしのぶ
菊池 悦信さん(66歳)

行政区 元御所

- 消防団員の皆様には、日ごろから地域の安心安全に尽力していただき感謝しています。
- 魅力ある施策として「イベント、慰労会を開催して地域を盛り上げる」「誰でも気軽に参加できる体験訓練を通じ消防団活動の周知を図る」「負担軽減のため、災害活動時の報酬や手当を上げる。」などに取り組んで若者にPRしてはどうですか。



いわい えいじ
岩井 栄司さん(51歳)

行政区 晴山

- 消防団に入団した時には、若者が魅力を感じる優遇制度を設けることを検討しては。例えば、独身者であれば結婚祝い金の支給や町民税の減額など。
- 入団する団員が子育て世代であれば、出産祝い金とは別に消防団員のみを対象にした出産祝い金の支給や若者が何を望むかその声を聞き補助金を支給することなども検討しては。



ながさか かずのり
長坂 一徳さん(76歳)

行政区 下町三

- 団員の報酬を上げたり、飲食を伴う各種行事では金銭的負担が生じないなど若者が入団して魅力があるものにすることが必要だと思います。
- 会社、事業所等に勤めている方が消防団に入団した場合、その職場に何らかの優遇措置ということも考えてみてはどうですか。

消防団の明日を考える

消防団は崇高な使命感を持つ消防団員に支えられ大きな力を発揮します。団員のなり手不足解消等の課題は、「報酬等の処遇の改善」「魅力の発信」「企業等との連携」による環境整備を進めることが求められる一方で、地域に住む男性に限定せず、幅広い層をターゲットにすることも考えていく必要があります。

議会としては、「消防団との意見交換会」等を通じて現場の声を的確に把握し、一般質問等で、「処遇の改善」「設備の充実」「企業との連携」等

課題解決に向けた要望や提言を行い魅力ある消防団の明日を考えていきます。



議会と消防団との意見交換

条例の改正、 財産取得案 などを可決

●町長及び副町長の給与の減額に係る
●栗石町特別職の職員で常勤のもの
●給与に関する条例の一部を改正
●取得後31年経過の除雪トラック1台を更新

令和8年6月定例会は、6月4日から6月12日までの9日間の会期で行われました。

本定例会では、報告8件、承認3件、条例の一部改正3件、補正予算3件、同意1件、その他8件を審議しました。
一般質問は、9人の議員が登壇し、町民のために適切な町政運営が行われているか、町当局の考えをいただきました。



6月定例会の審議状況の動画はこちら

令和7年度補正予算

会計名	補正後予算額 (補正予算額)
一般会計（第10号）	120億8,556万8千円 (2,416万4千円減)
栗石診療所特別会計 (第5号)	4億8,721万9千円 (30万円減)

令和8年度補正予算

会計名	補正後予算額（補正予算額）
一般会計（第1号）	110億5,861万1千円 (1,361万1千円増)
介護保険事業勘定特別会計 (第1号)	21億3,244万9千円 (77万4千円増)
一般会計（第2号）	110億6,643万3千円 (782万2千円増)



最初の誕生日にプレゼントされるファーストバースデー・ブック

主な補正予算

公有財産管理事業

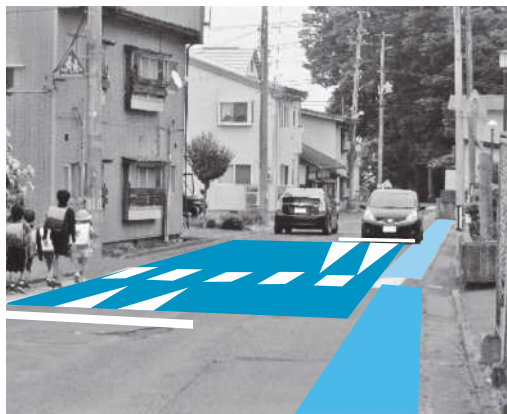
○損害発生時等支払賠償金

345万円

令和8年3月27日に契約締結した

「栗石小学校地区ゾーン30プラス整備工事（1工区）」について、設計単価の誤りが発覚し、再積算の結果、本来落札すべき者と異なる者を落札者としていたことが判明した。

入札制度の公平性等の確保に鑑み、当該工事の請負契約を解除し、その損害について和解し、賠償するもの。



ゾーン 30 プラスで整備される通学路

※ゾーン30プラス…通学路などにおける人優先の通行空間。最高速度30km/h区域規制と物理的な設備の組み合わせ

学校施設整備事業

○空調設備設計業務委託料

389万4千円

栗石中学校の特別教室に空調設備（クーラー）を設置するための設計業務委託料を計上する。



急がれる暑さ対策のためのクーラー設置

行政経営管理事業

○訴訟報奨金 317万3千円

○訴訟弁護士委託料 119万9千円

地籍調査（通称…国土調査）の成果に不服がある町民が、町を被告として盛岡地方裁判所に訴状を提出し、盛岡地方裁判所から「□頭弁論期日呼出状及び答弁書催告状」が届いたため、答弁書の作成及び第1回□頭弁論の対応を代理人弁護士に依頼するため。提訴内容は①再度の地籍調査の実施②地図、地積等の修正を盛岡地方事務局に申し出ること③境界杭の設置、現状復旧の実施の3点となっている。

ここが変わる

栗石町特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例

町が発注する業務において、設計額の積算誤りにより入札結果を取り消す事案が立て続けに3件発生し、うち1件については、契約解除に伴う損害賠償金が発生しており、これらの事案の影響を鑑みて、町長及び副町長の給料月額を次のように減額するため、条例を改正するもの。

（1）町長…令和8年7月及び8月の2か月分を給料月額の10パーセント減額

（2）副町長…令和8年7月の1か月分を給料月額の10パーセント減額

主な質疑

Q 【富山議員】 中学校費の空調設備設計業務委託料を、当初予算に計上しなかったのはなぜか。

A 【教育次長】 当初予算編成時に、国の補助金や地方債を充てて短期間に工事を進めることで調整したが、その時点で設計ができていなかった。今回補正予算で設計して、来年度以降3年程度をかけて計画的に小中学校全

ての教室にクーラーを整備していく。

Q 【西田議員】 町税条例の一部改正専決処分のうち国保税について、今年度から18歳までの子どもの均等割額を全額免除の規定はなくなるということでよいのか。

A 【税務課長】 今年度から創設された子ども・子育て支援納付金に係る18歳未満の被保険者の保険税を免除する規定を追加するもの。

Q 【若持議員】 旧上長山小学校の賃貸契約の弁護士費用であるが、町が町民に対して弁護士を使用した裁判を起こすことは避けるべきでは。

A 【総務課長】 賃貸契約が期間満了しても、鍵の返却及び物品の撤去をしていない。退去について直接交渉したが、現在は相手方が弁護士と相談し、町と直接話をしない意向を示した。やむを得ず弁護士に依頼することとなった。



物品の撤去がされない食堂だった旧給食室

議案等 番号	件名	高橋 公史	小笠原 百合子	畠山 操	金子 一男	坂井 尚樹	徳田 幸男	岡本 忠美	堂前 義信	横手 寿明	岩持 清美	杉澤 敏明	西田 征洋	山崎 留美子	議決結果
議案 第3号	令和8年度雫石町一般会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	可決
議案 第4号	令和8年度雫石町介護保険事業勘定特別会 計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案 第5号	第三次雫石町総合計画後期基本計画の変更 に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案 第8号	雫石町特別職の職員で常勤のものの給与に 関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	可決

○・・・賛成、●・・・反対、欠・・・欠席、－・・・退席 ※幅議長は採決には加わりません。

★その他の承認、議案、同意については、全議員が賛成いたしました。

Q 【山崎議員】第三次雫石町総合計画後期基本計画の指標変更して目標値を変えたことは、高い評価をしている。今年度、新たに図書館で行う事業は。

A 【生涯文化スポーツ課長】今年度、1歳児健診時に選んだ絵本をプレゼントするファーストバースデイ・ブック事業を開始した。

Q 【徳田議員】町長及び副町長の減給の件、今回の事案はそのような重い処分は必要なのではないか。3件不適正事案が発生し、損害賠償という事案も発生したため、それを重く受け止め町長自身の責任を明らかにするために挙げるものか。

A 【町長】3件立て続けに不適正事案が発生したことは、私と副町長に管理監督責任がある。このような事案が起きた限りは組織のトップに責任がある。私の不徳の致すところ、管理監督不十分だった。

Q 【堂前議員】行政経営管理事業の訴訟報奨金及び訴訟弁護士委託料について、過去の経緯や状況から考えて、無理のある訴訟案件だと思われるが、町民の貴重な税金がこのような案件に使われないよう、取り下げてもらえないか。

A 【地域整備課長】1年以上前から説明しているが、相手方は納得せず、担当課との話し合いは一切拒まれていた。相手方が盛岡地方裁判所に訴状を提出したため、弁護士費用を計上した。

討論

弁護士を立ててまでは反対

反対

【杉澤議員】

令和8年度一般会計補正予算（第1号）について、旧上長山小学校の件は、視察を行ったり、各教室を全部デザイン会社等に利用してもらう計画など、様々あったが、採択にならなかった。そのうち、学校全体の一括貸付となった。1社が学校全部を使いこなしてやることは考えられない。無理なことに目標を立てて追求しているからうまくいかない。利用について、もうひと工夫して、今の相手方に貸してみてもいいと思う。弁護士を立ててまで進めるやり方には反対する。

財産の取得

除雪トラック（7トン級）1台
を更新

取得予定額 3,624万5千円

現有の除雪車両は、取得から31年を経過し、経年劣化による故障が頻発し業務に支障が生じていることから更新するもの。



更新予定の除雪トラック

人事

○栗石町固定資産評価審査委員会委員
選任に同意

7月4日に委員3名の内1名が任期満了し退任することから、次期委員が新たに選任され、全議員がこれに同意した。

栗石町固定資産評価審査委員（退任）
氏名…佐々木 繁光（不動産鑑定士）
任期…令和5年7月5日～8年7月4日

栗石町固定資産評価審査委員（新任）
氏名…荻宿 日登志（司法書士・行政書士）

任期…令和8年7月5日～11年7月4日

ここが
聞きたい

一般質問

町政を問う
9議員が質問

一般質問は、議員が広く町政に関し報告や説明を求めたり、疑問をただしたりするものです。定例会ごとに実施されており、質問順は抽選で決定しています。

10
ページ

訪問介護事業へ支援をする考えは

質問者／西田征洋 議員



10
ページ

DMO の計画に基づく新たな誘客
施策は

質問者／金子一男 議員



10
ページ

小中学校のバリアフリー整備の状
況は

質問者／畠山 操 議員



12
ページ

コンプライアンスの取り組みは

質問者／岡本忠美 議員



12
ページ

生ごみ減量の取り組み状況は

質問者／堂前義信 議員



12
ページ

町内から若年女性流出の要因は

質問者／小笠原百合子 議員



14
ページ

経常収支比率改善の取り組みを

質問者／杉澤敏明 議員



14
ページ

中学校部活動生徒移動の現状は

質問者／横手寿明 議員



14
ページ

相続登記義務化の重要性の認識は

質問者／徳田幸男 議員



訪問介護事業の危機は国の基本報酬の引き下げがきっかけですね

質問者／西田 まさひろ
西田 征洋 議員



訪問介護事業へ支援
をする考えは

町長 現時点で経営支援
は検討していない

Q 訪問介護事業は、在宅生活を支える重要なサービスである。町内の利用者や事業所の状況を踏まえ、訪問介護事業を支援する考えは。

A 町内の利用状況や事業所の経営環境を踏まえ、現時点で訪問介護サービスに特化した経営支援は検討していないが、安定的な介護サービスを提供できるよう経営環境を取り巻く社会情勢や国・県の動向などを注視していく。

地元企業の商売に直結する取り組みを実現するのは登録DMO

質問者／金子 一男
金子 一男 議員



DMOの計画に基づく
新たな誘客施策は

町長 オーストラリアで
スキー客誘致事業を実施

Q DMO（観光地域づくりの法人）の計画に基づく効果的なプロモーションなど、新たな取り組みは。

A 客観的データを基にターゲットを設定している。本年度は新たにオーストラリアからのスキー客誘致を目的とした市場開拓事業を実施し、現地博覧会でPRした。今後も誘客促進を支援していく。

Q DMOの活動に対する事業者アンケートや満足度調査を実施し、今後の事業に活かしては。

障がいのある人が住みよいまちイコール健全な人も住みよいまち

質問者／島山 操
島山 操 議員



小中学校のバリアフリー
整備の状況は

教育長 スロープは、栗石小
学校以外の学校に設置

Q 小中学校の多目的トイレや段差解消、スロープなどバリアフリー化の状況は。

A 多目的トイレは、栗石小学校校舎、御所小学校の校舎及び体育館、栗石中学校の体育館に設置している。全ての段差を解消している学校は、七ツ森小学校と御所小学校である。スロープは、栗石小学校以外に設置している。

賃上げ支援の利用状況は

Q 県が行う「物価高騰対策賃上げ支援事業」について、町の事業所等の利用状況は。

A 県では、賃金を1時間当たり60円以上引き上げた中小企業等を対象に、従業員1人当たり6万円の支援を行っている。町内では5月1日時点で6事業所、81人分の申請があった。今後も国や県の制度について周知に努める。

物価高騰対策
賃上げ支援金

岩手県では、**60円以上**（1時間当りの）
賃上げを行った中小企業等を対象に
従業員1人あたり**6万円**<sup>上限
50人分</sup>を支給します

支給金の 支給額	従業員1人当たり 6万円 ・上限 50人分 (1事業所当たり最大 400万円) 令和7年10月1日から令和8年12月31日の間に、令和7年1月未満の従業員の首を 増税1,031円以上引上げした場合は、2万円加算する。
支給 対象者	県内に事業所を有する 中小企業等 ※国営企業、国営関係、個人事業主等(従業員を1人以上雇用しているものに限る)を含む。 (※引(従業員数)へ)
支給要件	①賞上げの発効時期 令和7年10月1日から令和8年9月30日まで

(2)賞金の支給が令和8年10月31日までのものを指す。

①賞金対象の従業員
令和8年10月31日現在に在籍する正社員及び非常勤雇用労働者。
ただし、非常勤雇用労働者については、所定労働時間20時間以上であること。

②賞金対象月
(イ)対象期間において、従業員の前月の賞金を賞金上月の前月と比較して1期間当たり60%以上引き上げていること。
(イ)継続1年以上、引き上げ後の賞金支給額があること。
(ロ)引き上げ後の賞金水準を1年間継続すること。

③その他
申請時期において、事務関係の全ての労働者の1期間当たりの賞金が前年度賞金を上回っていること。

受付開始 令和8年 2月13日(金)

県全体の支給上限 若手県全体で25億4,000万円を上限とし
 市町村に達し次第終了します。
※市町村は申請の進み具合でも、令和8年1月13日(金)で受付終了します。

手続きについては
 裏面をご覧ください。

県物価高騰対策賃上げ支援事業チラシ

補聴器購入支援を検討しては

Q 加齢性難聴の人たちへの補聴器購入支援を検討しては。

A 難聴について相談があった場合は、医療機関の受診勧奨や、身体障がい者の支援制度による補装具費支給事業を案内している。現時点で町独自の助成制度は考えていないが、相談に丁寧に対応し、国の動向も注視していく。



Q DMO登録による国や県からの「情報」「人材」「財政」の支援を活用した取り組みは。

A 国や県には人材育成や観光コンテンツ造成などを支援する制度がある。本年度は町からの職員派遣を継続するとともに、外部専門人材を招き、DMOの体制強化や経営支援に取り組んでいく。

オーストラリアで雫石のスキー場をPR

支援学校や支援学級の通学は

Q 支援学校に通学する場合、本人や保護者に大きな負担が生じると思うが、長距離通学の実態を把握しているか。

A 障害児相談支援事業所の支援により、児童一人一人の障害児支援利用計画を作成している。定期的なモニタリングを行い、通学の実態も含めて、児童や家庭の状況を把握している。



七ツ森小学校に設置された昇降機

議員もハラスメント行為を行わないためにも研修が必要ですね

質問者／岡本忠美議員
おかもとただみ



コンプライアンスの取り組みは

町長 内部統制体制の整備に取り組んでいる

Q コンプライアンス（法令順守）違反により多くの不祥事案が報道されているが、現在の体制は。

A 財務に関する事務や情報管理に関するものを対象にリスクの洗い出し、再発防止策を講じて、組織的な自浄作業を働かせる整備を進めている。

Q 過去3年間の不適正・不祥事案の件数は。

A 懲戒免職1件、訓告5件、厳重注意21件で職務上の事務処理に係るもののほ

「生ごみを有効活用して資源循環できないかなあ」

質問者／堂前義信議員
どうぜんよしのお



生ごみ減量の取り組み状況は

町長 生ごみ処理機等購入費補助事業を再開

Q 令和7年9月に「第11期栗石町分別収集計画」が策定されたが、生ごみ減量への取り組み状況は。

A 生ごみの水分量は約80%であり、広報紙やごみカレンダー等で十分に水気を切って排出するように周知している。令和8年度は、生ごみ処理機等購入費補助事業を再開し、生ごみの減量をさらに進める。

Q 集団資源回収の取り組み状況は。

町内から若年女性流出の要因は

町長 進学や就職などが背景にある

Q 若年女性の人口減少は、結婚や出産、子育て世代の減少にもつながり、ひいては、子どもの減少にも影響している。若年女性の町内からの流出の要因をどのように捉えているか。

A 高校卒業後の進学や就職期に町外へ転出することや、多様なライフスタイルなどが背景にあると分析している。このことから、就労機会の創出や都市圏からの環流を促す環境づくりに取り組んでいる。

「帰ってきたい町」のヒントを、若い世代の本音から

質問者／小笠原百合子議員
おがさわらゆりこ



か、自家用車での交通違反も含まれる。

小学校旧校舎の活用は

Q

旧校舎を取り壊す考えはあるか。

A

旧橋場、大村、西根小は施設を継続利用、旧上長山小は活用を継続するため必要経費を計上した。現時点で旧校舎を取り壊す考えはない。



年間約 1,200 万円の維持費がかかっている旧校舎 4 校

A

令和 6 年度は、29 団体が登録し約 310 トンの資源を回収。7 年度は、23 団体が登録し約 305 トンの資源回収が実施された。今後は、登録団体数が増えるよう事業の周知に努め、引き続き取り組む団体に対して、奨励金を交付しごみの減量と資源のリサイクルを後押ししていく。



リサイクルセンターで資源の大切さを学ぶ小学生

クマの被害防止対策は

Q

市街地に出没し危険な行動をとるクマが今後増えてくると思われるが、住民の被害を未然に防ぐため、対策強化をどう図っていくか。

A

担当職員及び鳥獣被害対策実施隊員による、クマの目撃箇所付近のパトロールや花火を使用した追い払い等を実施している。特に多くの人が集まる施設付近に出没した際は、警察や施設管理者と連携し、巡回パトロール等を行っている。

さらに、小学校付近で目撃された際には、学校関係者と協力し、通学路を巡回パトロールする等、被害防止の対策強化を図っている。

まちづくりに若年女性の声を

Q

若年女性の声を市政に反映させるためには、気軽に話せる場所づくり、女性の視点を生かすことが重要である。まちづくりに、若年女性の声を取り入れる取り組みを。

A

近年、若年層のライフスタイルや価値観が多様化しており、より幅広い世代のニーズを把握するためには、広聴手段の多様化が必要と捉えている。これまでも広報直通便等で広聴手段を講じてきたが、様々な世代が参加しやすい新しい広聴の枠組みを検討する。

若い世代が地元に戻れる施策を

Q

就職等で町を離れた若年女性が「将来は地元に戻りたい」と思える環境づくりが必要と考えるが、どのように取り組んで行くか。

A

各種移住フェアへの出展や情報発信の強化等により、町を離れた若者や移住検討者に町の魅力が伝わるよう取り組みで行く。



Uターンの促進が期待される移住フェア

財政破綻状況を立て直すには、町民の協力を得ることが不可欠だ

質問者／杉澤敏明 議員



経常収支比率改善の取り組みを

町長 財政調整基金を運用しながら立て直す

Q 経常収支が悪化しているので、町民懇談会を開き、町長自ら町民に財政状況を説明し、町独自施策の削減などの理解と協力を得る考えは。

A 経常収支比率が年々上昇傾向にあるが、財政調整基金が23億円ほどあり、それを活用しながら立て直していくのも一つの方法である。今すぐ町民に全て説明する段階ではない。

栗石中ならではの部活動の地域展開を進めて行くべき

質問者／横手寿明 議員



中学校部活動生徒移動の現状は

教育長 大会はスクールバス利用を基本としている

Q 栗石中学校部活動の生徒移動に関し、現状の把握は十分にできているか。

A 磐越自動車道の事故を受けて、改めて各部活動の移動実態を確認した。大会参加時はスクールバスを利用することを基本とし、練習試合等は保護者送迎で対応している。

Q 部活動の地域展開を進めるうえで、移動中や活動中の事故、トラブルへの対応は。

通学路のクマ対策は急務です

質問者／徳田幸男 議員



相続登記義務化の重要性の認識は

町長 適正な課税を行う上で重要である

Q 相続登記が義務化され2年経過したが、相続登記の重要性をどう認識しているか。

A 全国的に「所有者不明土地問題」が深刻化している。土地または家屋について適正な課税を行う上で相続登記の義務化は、重要なものと認識している。

Q 相続未登記農地等の実態調査や解消への取り組みは。

A 平成28年度から3回実態調査を行い、664ヘクタールと把握している。死

いわて県石アーチェリーセンターでの大会誘致を

Q いわて県石アーチェリーセンターで県大会などの開催がないが、どう取り組んでいるか。

A 各大会並びに誘致する相談会等に足を運んでおり、その成果も少しずつ出てきている。今年度は、引き続き高総体の大会に利用してもらったほか、東北大会が開催予定で、100人以上の規模になる。また、大学の大きな大会も秋頃に予定されている。

※経常収支比率…経常的経費（人件費、扶助費、公債費等）に経常一般財源収入（町税、地方交付税等経常的に収入される一般財源）がどの程度充当されているかを見る指標。比率が高いほど財政が硬直していることを示す。



施設利用が進んでいるいわて県石アーチェリーセンター

A 国の通知を踏まえ、安全確保や緊急時対応の体制を検証し、保護者や指導者の意見も聞きながら、地域展開の体制や運営方法を検討していく。

Q 遠征時など、移動の安全確保に伴う、保護者が負担する遠征費や交通費の増加をどう考えるか。

A 部活動の地域展開を進める上で、遠征時の移動費や指導者謝礼などの財源確保や負担のあり方は大きな課題の一つと認識している。負担のあり方について意見をいただきながら検討していく。

※部活動の地域展開…少子化や教員の働き方改革を背景に、学校だけでなく地域のスポーツ団体や文化団体などが、部活動の運営を担う取り組み。



昨年全国大会に出場した県石中学校野球部

亡手続きの際、農地を所有している方には農業委員会から法務局での相続登記の手続きを促している。



通学路の安全点検がクマ危害防止に必要

クマによる児童生徒に対する危険防止策は

Q 登下校時のクマ危害を防止するため、通学路の環境整備が必要だが、安全点検は行っているか。

A 地域や学校からの要望をもとに行った。また、教職員が集団下校時、スクールバスの登校指導時にも行っている。

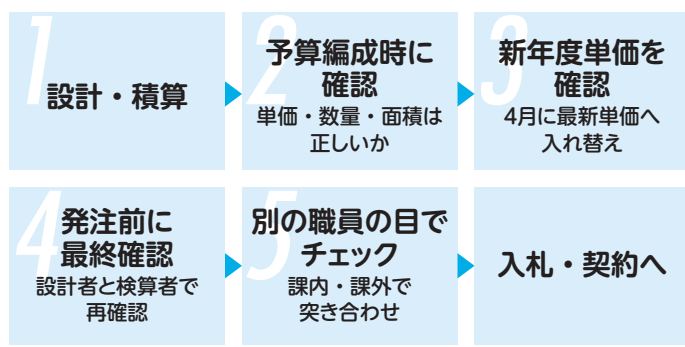
総務産業常任委員会

発注業務の積算誤り、再発防止を確認

何が起きた？

- ・積算誤りが3件発生
- ・担当課から原因と対応を聴取
- ・委員会で再発防止策を確認

チェックの流れを見える化



積算誤りの経過と再発防止策について説明を受ける委員



再発防止のポイント ひとり任せにせず、複数人で確認し、記録を残す仕組み

確認したこと	見えた課題	今後の対応
・原因と経過を確認 ・担当課の説明を受け、発生状況を整理	・確認体制の見直し ・チェック方法やチェック者の選任に改善余地	・再発防止の徹底 ・別途積算して突き合わせを行い、複数人確認を徹底

委員会としての視点

今回発生した3件の積算誤りについて、担当課から原因や対応の説明を受けました。委員からは確認体制や再発防止策について質疑があり、複数人による確認とチェック記録の徹底が重要であることを確認しました。

教育民生常任委員会

栗石診療所を中心とした地域医療構想(案)について

町民が将来にわたり安心して医療を受けられる体制の維持に向け町の方針案について調査を行いました。

ここに注目

- ☒ 医療施設の減少により、町内での医療提供体制の維持が課題
- ☒ 診療所の役割を見直し、医師の負担軽減と体制維持を目指す
- ☒ 入院は広域の医療施設と連携し、身近な医療を町内で確保

町内医療の現状

- ・20年間で医療施設が18施設から、10施設に減少
- ・開業医の高齢化も進行

診療所の現状

- ・2名の医師が在籍
- ・医師は外来・入院・訪問・オンコールなど多岐にわたり負担が大きい
- ・継続的に医師を募集しているが現在まで応募なし

医師の働き方改革

- ・健康確保と医療提供体制のため、労働環境の改善が必要
- ・労働時間の短縮など、負担軽減が不可欠

医師確保の課題

- ・雇用条件が希望と合わない
- ・「診療所」であるが実質は「病院」と同じ業務量
- ・「オンコール」ありきの勤務形態



地域医療を支える栗石診療所

今後の方向性(案) (主なポイント)

- ・入院機能の縮小、段階的廃止を目指し、医師の負担を軽減
- ・外来診療、訪問診療へ特化し在宅医療や他職種連携を強化
- ・入院が必要な患者は、広域の医療施設と連携して対応

委員会としての視点

町民が将来にわたり安心して医療を受けられる体制を維持することは、町の暮らしに直結する重要なテーマです。医師確保の状況や構想の策定状況などを継続して調査し、町民の皆さんに分かりやすくお伝えしていきます。

広報広聴常任委員会

先進地視察

議会だよりの編集方針と 広聴活動を研修

5月20日、和歌山県かつらぎ町で視察研修をしてきました。かつらぎ町の議会だよりは、予算審議の内容について幅広く住民が登場し、活気ある紙面を作成。住民の議会への関心の高め方や、読みやすいレイアウトなど、今後の参考になりました。



住民が議会へ関心を持つ取り組みを視察

平泉町議会が視察に来町

SNSでの情報発信などを 意見交換

6月30日、平泉町議会広報広聴常任委員会委員6名、事務局1名が来町。議会だよりに特集のテーマや見出しの付け方、表紙写真の企画や選定方法、SNSでの情報発信について、投稿の内容や町民からの反応など、活発な意見を交わしました。



編集方針やSNSなどの活用方法を意見交換

町民懇談会 (議会報告会)

議員定数と報酬の見直しについて

雫石町議会では、令和7年11月に「雫石町議会議員報酬等適正化調査特別委員会」を設置し、11回の協議を重ね、議員定数及び報酬の見直しに向けた検討を進めてきました。これまでの方向性としては、議員定数を現行の16人より2人減の14人。議員報酬を現行の月額23万8千円から3万円増額の26万8千円と考えています。

これまでの協議内容について、町民の皆様への情報提供とご意見を広くお聴きするため、7月8日に雫石公民館と西山公民館、11日に御所公民館と御明神公民館の計4会場で、町民約20名参加のもと、町民懇談会を開催しました。



貴重な意見が数多く出された町民懇談会

1時間以上の懇談会の中で、皆様方から多数の貴重なご意見をいただきました。いただいた意見を参考にしながら、将来の雫石町のために議会として、最終報告案への協議を継続してまいります。

- 参加者からの主なご意見、質問等
- ・人口比率、高齢化の進行等、10年後の未来予測を加味したか。
- ・会社員、女性、若い世代が参加しやすい環境づくりが必要ではないか。
- ・議員数が減ると住民の声が届きにくくなるのではないか。
- ・最終的な決定までの流れはどうなっているのか。





いち い よう こ
一井 陽子さん (61 歳・七ツ森)

豊かな自然と農業

雫石出身ではない私がこの地に住む理由。それは、四季折々の自然や雄大な岩手山、美しい田園風景に魅せられたからです。移住者との出会いを通して、この豊かな自然と農業こそが雫石の宝物であり、未来へ守り継ぎたいものだと思信しています。



く じ え り な
久慈 恵里奈さん (45 歳・中町二・三)

変わらぬ人情

10 年前に雫石へ戻ってきましたが、昔と変わらない、地域の人との人情味ある繋がりが好きです。お隣りから頂くとれたて野菜やお彼岸団子で四季を感じられる日常の喜び。当スタジオのコンクール等の活動を「新聞見たよ」と喜んでくれる温かさ。交わす笑顔やずっと応援してくれる地域の絆が宝物です。



お が わ しん い ち
小川 信一さん (67 歳・天戸)

何より町民が宝物

私が小学校 6 年生の時に起きた全日空機雫石衝突事故。何の見返りも求めず必死に事故処理作業に取り組んでいた町民の「バイタリティ」と「心根の優しさ」が何よりも雫石の宝だと思います。時は経ても、その宝物が永遠に受け継がれていると信じております。

皆さんの声を聞きました

議員が町内を歩いて
皆さんの声を聴く VOICE シリーズ。



こ ば や し しゅう へ い
小林 周平さん (37 歳・駅前)

田園風景と春夏秋冬

春はきらめく水鏡、夏は蛙の大合唱、秋は黄金の稲穂波、冬は一面銀世界。生まれた時から当たり前にある景色は、進学就職で田畑のない都会で過ごし帰郷した私にとって、当たり前ではない景色になりました。心もお腹も満たしてくれる雫石の宝だと思います。



母の実家での思い出

雫石は私の母の故郷（ふるさと）であり私の子どもの頃の故郷（ふるさと）で

もあります。

私の母「種子キエ」は雫石町の下久保生まれです。母の昔話では、「大屋のキエっこ」と呼ばれていたそうです。実家は、南部曲がり屋でした。その家も今はダムの底になりました。家紋は五三の桐で襖に家紋が沢山ついていました。平家の落ち武者の流れのようだと思います。

私は盛岡で生まれ育ちましたが、小学生の頃までは夏休みや冬休みなどは母の実家で過ごしました。そこに同じ年くらいのいとこやはとこがいたので一緒に遊んで回っていました。庭の豆柿の木に登ったり（写真1）、家の河原（から）で栗拾いしたり、近くの小川に雪を集めて橋を作り水をかけて夜に凍らせ、翌日に渡ったりして遊んだことを覚えています。あんまり私が傷だらけになってしまうので、伯父さんに自転車に乗せられて、繋の共同温泉に連れて行ってもらったこともありました。そこは雫石川を渡し舟（写真2）で越えて、入口に「繋ぎ岩」がある温泉でした。

雪といえば、母の実家に泊まっていた私を両親が迎えに来て、夜の汽車で帰るときに、小岩井駅を過ぎてから進めなくなり、盛岡駅に着いたのが翌日の早朝ということが何度かありました。大人の膝以上の積雪なので子どもの私は駅員さんに預けられて昼

盛岡一高卒ー東京理科大（物理）ー岩手大（工学部・金属専攻）ー工事会社（研究開発等）。趣味（宇宙論・カラオケ等）

頃に迎えにきてもらいました。

蒸気機関車と客車（今ならレトロな車輛）でしたが当時はそれが普通で便利な乗り物でした。

車で家族と山菜やキノコを採りに行き、帰りに鶯宿温泉で入浴し、また玄武洞から滝ノ上温泉に行き、トンネルを抜けて滝つぼに下りて泳いで遊んだこともありました。さらに沢を木や石や土でせき止めて湯船を造り露天風呂ごっこをして遊びました。秋にはなめこ・椎茸を採って芋の子汁にして食べました。昔は熊の心配はなかったです。また小岩井農場の牛乳工場で見学や試飲したり、帰りに一本桜をみたり（写真3）、懐かしい思い出が多いです。現在は趣味に勤しんで生活しています。



（写真1）豆柿の木に登る、向かって左から二番目が筆者



（写真2）渡し舟・川に流されないように船頭さんが針金をつかんでいる。向かって左から母、叔母、筆者



（写真3）一本桜の前で（中央が母）

雫石町へようこそ

／ ご縁があり、雫石町民になった ／

徳田 真理子さん (47 歳) | 東町 | ※一戸町出身

Q お二人の馴れ初めは？

A 同じ職場で働いていたことがきっかけです。主人が実家の農業を継ぐことになり移住しました。

Q 雫石町に暮らしてみているいかがですか？

A 子どものころからよく遊びに来ていましたが、自然が豊かで食べ物がいちよく大好きな温泉もたくさんあり、ますます魅力的な町だと思えるようになりました。

Q 町へ望むことは？

A 子どもの給食費や医療費などのサポートが手厚く、子育てがしやすい町でしたが、公共交通機関が乏しく、娘を高校に通わせるには時間帯によっては不安があります。また、医療機関が少ないため、オンライン受診などの整備をしていただけたら定期受診なども便利になると思います。



田植え初日の写真

左から 本人 真理子さん (47 歳)

中央 二夢さん (17 歳) 慎太郎さん (48 歳)

なかよしシリーズ③

今月の表紙
Photo by 川代大輔

写真左から

巽さん
悠さん
律さん
翼さん



細川遼さん、真奈美さん (片子沢) のお子さん
なかよし 4 きょうだいです。

将来の夢は何ですか？

長男 悠さん (10 歳) : YouTuber

次男 巽さん (9 歳) : 建築家

長女 翼さん (7 歳) : パティシエ

三男 律さん (10 か月) : 元気で明るい子 (親の希望)

情報公開

●議長交際費執行状況

【議長交際費とは】

【議長交際費内訳 (4 月～6 月)】

議長等が議会を代表し、外部との交渉、情報収集、町政協力者への謝意を表すために係る経費で、会費や香典などです。

月	葬祭費	お祝い、会費
4 月	0 件 0 円	2 件 22,000 円
5 月	0 件 0 円	2 件 10,000 円
6 月	1 件 5,000 円	2 件 9,500 円
合計	1 件 5,000 円	6 件 41,500 円

※議会の動きは HP に掲載しています。

■編集デスク

窓から見える岩手山の青さに、夏の力強さを感じる季節になりました。今年の夏も暑くなると予想されています。熱中症対策にご油断なく、農作業やお仕事に頑張ってください。議会だよりは、町民の皆さまの声を聞く広聴活動やさらに読みやすく親しみやすい紙面づくりに取り組んでいきたいと思っています。

(広報広聴常任委員 : 金子一男)

発行責任者(議長)／幅 秀哉
編集委員長／堂前義信
副委員長／徳田幸男

編集委員／坂井尚樹・金子一男
畠山 操・高橋公史
小笠原百合子